

◎「ウクライナ支援」 News Letter

2022年4月18日

ミッション・宣教の声

黒田 禎一郎

愛する
主にある皆様へ

ウクライナから他国へ脱出した人々の人数は500万人を越えたと言われますが、正確なところは不明です。ウクライナ難民がポーランドに次いで多いのは隣国ルーマニアです。彼らは国を出てルーマニアに入り、そしてさらに西側諸国へ移動しています。私の長年の信仰の友であるミハイル・チオパタ伝道師は、首都ブカレストで難民支援活動を行っています。ハイル伝道師 **<チオパタ伝道師夫妻>** から連絡が入りましたので、ここにルーマニアからの近況をお知らせします。



ウクライナから出てくる人たちは、子ども連れの若い母親と高齢者です。私たちは2教会の敷地を使い、毎日平均して50～60家族を迎え入れています。彼らは数日から1週間ほど滞在し、それから西側に移動します。3月1日、私の甥がブカレストで「ルツ難民センター」を立ち上げ、難民たちに積極的支援を開始しました。彼らは着の身着のまま安全を求め国外に脱出、命が助かったことに深く感謝しています。チオパタ師の甥はロシア軍侵攻が始まる前から、ウクライナの教会およびクリスチャンを支援していましたが、そのチャンネルで毎日難民が入ってきます。

ルーマニア北部のスチャバ（ウクライナ国境近く）には、じつに多くの難民が流入しています。そこに住む私の信仰の友は12人の子どもを持つ大家族で、家は非常に大きいです。子どもたちは既に家を離れていますので、彼個人で30人～40人のウクライナ人難民を自宅に受け入れ、貴重な働きをしています。そこで私たちは彼の元へ食料品、ベッド、ブランケット、医薬品、そして経済的支援を行っています。しかしルーマニアの現状はEU中最貧国であり、その上インフレ状態が続いています。特にロシア軍侵攻以降、ガス、電気

はじめ基本食品などの全てが高騰してきました。西側の支援は急務ですので、どうぞ祈り覚えてください。

◎ドイツに迎へられた難民

俳優サムエル・コッホ氏の母マリオン・コッホ姉妹（58歳）の職業は、看護師です。彼女はこの度、ウクライナ難民38人を引率し無事にドイツに戻ってくることができました。3月初旬、ウクライナから一台のバスが南ドイツ・バムラッハに到着しました。戦火を逃れた全員が無事ドイツに到着できた



背景には、マリオン姉妹の献身的奉仕がありました。一行を出迎えたのは市長と、100人ほどのボランティアでした。ボランティアの人たちは、難民たちが入居するカトリック教施設を、何日間にもわたり部屋の大掃除し、また食べ物なども用意していました。

難民たちは子ども連れの母親と老人たちでしたが、その中には身体障害者もいました。ある少女は「てんかん症」の持病があり、約1500キロメートルの旅の間に10回もけいれん発作を起こしました。病人や障害者が脱出することは、じつに大変なことでした。彼らには医薬品とカテーテル等を持ち出すことで精一杯、他の余裕はまったくなかったそうです。ですからスーツケースや衣服を持っていくことができませんでした。病人は定期的に治療を受ける必要があるため、マリオン看護師の奉仕は非常に感謝されました。



彼女は難民施設に入った人々を続いてケアしています。医師の元に連れて行ったり、役所への手続きのヘルプをしたりしています。マリオン姉妹は、「一番大変なことは言葉の壁です」と言います。意志の疎通を交わすのに言葉は必須で

<コッホ夫妻と難民たち：ケーキ中央に「感謝」と書かれている>

すが、病状の説明などは特に大変です。しかし彼女は、スマートホンの翻訳アプリを用いて会話を進めていると言います。それは大きな助けになっています。主にあるこのような尊い働きは、まさしくクリスチャンの美しい愛の働きです。
「まことに、あなたがたに言います。わたしの弟子だからということで、この小さい者たちの一人に一杯の冷たい水でも飲ませる人は、決して報いを失うことがありません。」

マタイ 10:42